



# はぐくみ通信

## 地域社会全体の教育力向上を

子どもたちの健やかな成長には、地域全体ではぐくんでいこうとする意識や環境づくりが大切です。

124号では、今年度、中丹教育局が実施した研修会や研究協議会の様子を紹介します。参考にしていただき、学校や各市における研修等につなげていただければと思います。

### 地域の子育て指導者研修会

児童・生徒の安心・安全な放課後等の居場所づくりや、多様な体験・活動を行うことができる環境づくりを推進することをねらい、放課後児童クラブの関係者を中心に、児童理解と活動支援の面から学びを深めるとともに、それぞれの所属での実践について交流しました。

#### 児童理解について

令和7年10月9日(木) 場所：綾部市中央公民館



##### 講演

「一人一人の子どもの違いを認め支援するために～特別支援教育の視点から～」  
福知山市児童発達支援センターすきっぷ臨床発達心理士 奥村 康枝 様

##### 講演概要

一人一人の子どもの違いを認め、適切に支援するために必要な視点について学ぶ。

#### 参加者の感想

地域の中で子どもたちがいろんな体験をしながら育っていけるように、大人ができるこことはたくさんあると実感しました。子どもたちの「できない」ではなく「どうしたらできるか」を一緒に考えていけるような関わりを、これからも大切にしていきたいと思います。

#### 児童の成長と支援について

令和7年11月10日(月)

場所：あやべ・日東精工アリーナ

##### 講演

「この子の成長、どう見ていますか？～日常のケアから育む資質・能力～」  
金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授 鈴木 瞬 様



##### 講演概要

放課後児童クラブにおいて、子どもの成長や発達をどのように捉えるかを学び、日常のケアを通して資質・能力を育成する方法を考える。

#### 参加者の感想

講義を通して、教育とケアのバランスについて深く考える機会になりました。「応答する」という姿勢を基本に、子どもと関わることの大切さを改めて認識しました。また、放課後児童クラブが果たす役割の重要性についても理解が深まりました。

## 人権教育行政担当者等研究協議会

講演やフィールドワークを通して、人権問題についての理解と認識を深めるとともに、研究協議を通して管内3市それぞれの取組や実態について交流しました。

### 第1回研究協議会

令和7年8月20日(水)

場所：京都府綾部総合庁舎



部落問題を切り口に  
<身近な>差別を考える

穀雨企画室 渡辺 賢

講演

「部落問題を切り口に<身近な>差別を考える」

穀雨企画室代表 渡辺 賢 様

講演のねらい

部落差別が投げかける「人はなぜ差別してしまうのか」という普遍的な問いについて、自身の言動や無意識の偏りを見つめ直す。

### 参加者の感想

自分の「当たり前」が必ずしもそうではないと気が付きました。「普通は…」という言葉が無意識の偏見を生むことを学び、さまざまな立場を認識したうえで改めて「当たり前」を考えていきたいです。

### 第2回研究協議会 フィールドワーク

令和7年10月27日(月)

場所：地域福祉センター希望の家

講義 & フィールドワーク

「東九条の歴史と現在」

希望の家地域福祉センター施設長 前川 修 様

講義のねらい

東九条の歴史と現状を学び、地域に根差した人権課題とその背景を理解し、行政や社会としてどのように寄り添い支援するかを考える。



フィールドワークのねらい

地域を歩き、東九条の歴史や人権課題を体感し、まちの変化が暮らしに与えた影響と社会の構造を考え、「共に生きる」意味を問いかける。

### 参加者の感想

東九条の歴史や現状、崇仁地区とのつながりを深く知ることができ、とても勉強になりました。「誰のための活性化か」という言葉が心に残り、住む人の思いを大切にしたまちづくりの大切さを改めて感じました。

### 第3回研究協議会

令和7年12月11日(木)

場所：京都府綾部総合庁舎

講演

「多様な人々が安心して生活できる社会に～トランスジェンダーのわが子に学ぶ～」

松本 一成 様

講演のねらい

性の多様性を理解し、カミングアウトを受けた家族の視点からの話を聞くことで、誰もが尊重される社会づくりに向けた行政の役割を学ぶ。

### 参加者の感想

「知らないことは否定につながる」という言葉が心に残り、知ろうとする姿勢の重要性を学びました。多様性を尊重し、一人ひとりが自分らしく生きられる社会の大切さを感じました。